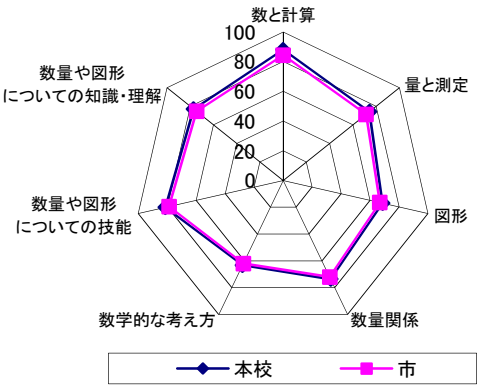


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	88.0	84.3
	量と測定	74.3	71.3
	図形	68.5	66.7
	数量関係	73.6	72.1
観点別	数学的な考え方	63.2	62.0
	数量や図形についての技能	81.3	78.8
	数量や図形についての知識・理解	77.1	74.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・平均正答率は、ほとんどの項目で市の平均を上回っている。ただし、分数÷分数に関する文章題の正しい式を選択することが市の平均を下回った。	・少人数指導，習熟度別学習，チャレンジテスト，家庭学習の指導で，この領域の指導に今後も継続して取り組み，確実に正答できるようにしていく。 ・文章題になると，立式できない児童もいるので，単元の復習だけでなく，学期のまとめなどでも重点的に復習し，確実に身に付くように取り組んでいきたい。
量と測定	・平均正答率は、市の平均を上回っている。面積を求める問題はできたが、体積を求める問題になると正答率が下がった。	・三角柱の体積を求める問題の正答率が低いことから、底面積と高さの関係をしっかりとらえられていない児童がいると考えられる。公式の意味が理解できるよう、繰り返し復習する。 ・速さを求める問題の正答率が低いことから、速さや道のりを求める公式が正しく身に付くよう指導していく。
図形	・平均正答率は、市の平均を上回っているが、半径から円周の長さを求めることや、円柱の展開図を理解することは市の平均を下回った。	・半径と直径の関係や、直径と円周の長さの関係を復習し、正しい知識の定着を図る。
数量関係	・平均正答率は、市の平均を上回っているが、与えられた表のデータから割合を求めることが、市の平均を下回った。	・割合の求め方を再確認するとともに、表から必要な情報を取り出す力を身に付けられるよう、繰り返し練習問題に取り組むようにする。